

結核集団感染事例について		平成24年9月27日 健康推進課 感染症対策班 担当：芦田、土橋 内線：2709、2710 直通：086-226-7331
発生場所	備前保健所管内	
速報年月日	平成24年9月27日	
1 概要 - 平成24年8月1日に、備前保健所管内の高等学校生徒が、県外滞在中に肺結核を発病していると診断され、滞在地の保健所へ結核患者の届出がされた。 8月22日に、滞在地の保健所から備前保健所へ感染症法に基づく接触者健康診断について依頼があった。 9月18日から、その生徒と接触の度合いが高い生徒と職員の142名について、健康診断（クオンティフェロン検査（※1）、必要な場合、胸部エックス線検査）を行った。 - 健康診断結果により、感染者（※2）16名が確認され、その内要精密検査となった生徒1名が本日肺結核発病と診断されたため、国の定める「結核集団感染」（※3）に該当し、集団感染事例として厚生労働省に報告した。 - 県外滞在中に肺結核を発病していると診断された生徒は、平成24年4月から咳症状、胸のつかえ感あり（食事後に咳きこみ、嘔吐）で受診するが、神経性胃炎と診断された。7月中旬から発熱、体重減少があった。入院していたが、現在は回復し、退院している。 - 本日肺結核を発病していると診断された生徒は、現在、無症状である。 - 感染者には発病予防のための内服を勧める。		
2 健康診断の結果 - 対象者数 145名（生徒89名、職員56名） - 受診者数 142名（生徒87名、職員55名） - 発病者 1名（生徒 1名） - 感染者 15名（生徒 8名、職員 7名）		
3 今後の対応 - 健康診断の対象者を全校生徒などに拡大し、実施する。 - 備前保健所では、所内に集団感染対策委員会（備前保健所長、保健課長、保健師、学校関係者、健康推進課長、結核専門家等）を設置し、学校設置の感染症対策本部と連携し、感染拡大防止、早期発見、再発予防等の対応について、万全を期すこととしている。 - 県教育委員会等を通じ、県内の学校に対して注意喚起を行う。		

4 県民の皆様へ

- ・ 結核の初期症状は、風邪によく似ています。①咳やたんが2週間以上続く②体がだるい③急に体重が落ちる等の症状がみられる場合は、結核を疑って早めに医療機関を受診してください。
- ・ 早期発見は、適切な治療につながり、家族や職場等への感染の拡大防止にもつながります。
- ・ 結核を発病しても、きちんと服薬すれば多くの患者は完治します。
- ・ 発病前の「感染」の状態で見えれば、服薬により発病を予防できます。

5 報道にあたってのお願い

- ・ 本「お知らせ」は、感染症の発生又はまん延の防止を図るため、県民へ結核について注意喚起を行うものです。つきましては、感染症の患者等の人権尊重には御配慮、御理解頂きますようお願いいたします。

備 考

- (※1)「クオンティフェロン検査」
結核菌に感染しているかどうかを調べる血液検査
- (※2)「感染者」
結核菌に感染しているが発病していない者
- (※3)「集団感染」
厚生労働省の定義で、同一の感染源が、2家族以上にまたがり、20人以上に結核を感染させた場合をいい、発病者1人を6人の感染者に相当するとして計算する。

【参考】

結核患者発生状況及び集団感染事例

(1) 発生状況（平成23年）

	新登録患者数	罹患率
全国	22,681人	17.7
岡山県	311人	16.0

※罹患率：1年間の新登録患者を人口10万人対で算出

※新登録患者数には感染者は含まれません。

(2) 結核集団感染事例

全国（平成24年3月31日現在）

年	総件数	うち学校
平成23年	49件	7件
平成22年	36件	2件
平成21年	30件	5件
平成20年	47件	3件
平成19年	42件	2件